

2016年カナダ国勢調査に基づく
日系カナダ人の人口学的特徴

2018年1月10日改訂
カナダ セイント・アルバータ市
大木 崇
ohki@shaw.ca

1 カナダには日系カナダ人が何人ぐらい住んでいますか？

カナダに住む日系カナダ人の総数を知るにはカナダ国勢調査が唯一の資料です。国勢調査は五年ごとに行われ、最新の調査が2016年に行われました。国勢調査には祖先を訊ねる質問があり、この祖先の中に日本人も含まれています。「日本人を祖先に持つカナダ人」

Canadians with Japanese ethnic origin と答えた人の様々な人口学的な要素がカナダ統計局のウェブサイトに発表されています。この報告では2017年11月までに発表された2016年カナダ国勢調査の統計に基づいて、カナダに住む日系カナダ人の人口学的特徴を考察します。

先ず「カナダ人の祖先」の意味を説明します。「祖先」はそれぞれの人が自分の人種的、文化的基礎と考えているものをさします。両親、祖父母の国籍、言語、生まれた国などではなく、もっと遡った祖先の人種的、文化的基礎です。日系カナダ人の場合はまだカナダにおける移民の歴史はまだ短く、後で述べるように現在の日系カナダ人の約半数は1960年代以降にカナダに移民をして来た日本人とそのカナダ生まれの子供と孫達です。ですから、第二次世界大戦後の日本人移民の祖先は両親か祖父母になります。戦前の移民でもまだ五世までしか世代はすすんでいません。しかし、多民族移民国家のカナダでは異民族の間の結婚 **inter-ethnic marriages, mixed marriages** が多く有ります。特に日系カナダ人は異民族間結婚率が高く、また過去30年ほどの期間に日本から移民してきた日本女性の中にはが日系人以外のカナダ人と結婚した人が多くいます。従って二世では異民族間結婚の両親を持つ日系カナダ人が多くいます。

国勢調査にはこのような異民族間結婚の歴史を持つカナダ人の為に「祖先」についての答えが二つ用意してあります。「一つだけの祖先」 **a single ethnic origin** と「一つ以上の祖先」 **multiple ethnic origins** です。カナダでは移民も三世の時代になると既に「祖先」の関係は複雑になってしまいます。したがって「祖先」は人類学的は分類ではなく文化的な分類で、それぞれの人は何を自分の文化的根源と認識するかということになります。移民の歴史の短い日系カナダ人の場合はまだ自分の祖先はわかりやすいでしょう。それでもカナダに生活していて、自分の文化的基礎を日本以外に選ぶ人もいるでしょう。この報告書では「日本人だけを祖先に持つ人」 **Japanese as a single ethnic origin** と「日本人と日本人以外を祖先に持つ人」 **Japanese as one of multiple ethnic origins** の二つの合計を「日系カナダ人」とします。

第1表はカナダ人の「祖先の選択」による分類を示しています。2016年における日系カナダ人の総数は121,485人でカナダの総人口の0.35パーセントにあたります。このうち日本人だけを祖先に持つ日系カナダ人が47パーセント、日本人と日本人以外の両方を祖先に持つ日系カナダ人が53パーセントです。

国勢調査の祖先によるカナダ人の分類統計を見るときには次の注意が必要です。国勢調査では祖先を200以上の種類から選べるようになっていました。しかし第1表からわかるように祖先に「カナダ人」を選んだ人が640万人、カナダ総人口の34パーセントいました。何故、「カナダ人」を選んだかの理由は国勢調査からだけではわかりません。しかし別表1をみると「カナダ人を祖先とするカナダ人」の42パーセントがケベック州にいます。ケベック州のフランス移民の子孫には「自分達がカナダ人だ」と思う傾向が強いようです。勿論フランス以外の国から移民してきた人達の子孫にも、「我々の祖先は遠い昔にカナダに移民してきた、それ以降いろいろな民族の人達と結婚しているから、詳しいことはわからない。自分はカナダ人という自覚で生活している。」という人もいるでしょう。また「祖先でカナダ人を分類することに反対する。我々はすべてカナダ人だ」と主張する人もいるでしょう。人類学的に日系カナダ人であっても「自分はカナダ人として生活している。」として祖先をカナダ人と

する人もいるでしょう。しかし、日本人移民の子孫でケベック州の住んでいる人が少ないこと、日本人移民の歴史がまだ短いことを考慮すると、日本人移民の子孫で「祖先はカナダ人」とする人は少ないとおもわれます。「カナダに住む日系カナダ人の総数は2016年に約12万人」が現在のところ最良の推定といつてよいでしょう。

第1表
カナダ人の祖先別人口

祖先	総数	パーセント	ただ一つの祖先	一つ以上の祖先	一つ以上の祖先を持つ人のパーセント
総数	34,460,065	100.00	20,297,890	14,162,175	41.1
北米原住民	2,130,520	6.18	662,585	1,467,935	68.9
原住民以外の北米人	11,628,535	33.74	6,617,290	5,011,245	43.1
アケイディア人	119,670	0.35	22,985	96,690	80.8
アメリカ人	377,405	1.10	29,595	347,815	92.2
カナダ人	11,135,965	32.32	6,436,935	4,699,030	42.2
ニューブルンズウィック人	1,485	0.00	505	985	66.3
ニューファンドランド人	22,215	0.06	4,895	17,325	78.0
ノバスコシヤ人	3,700	0.01	635	3,060	82.7
オンタリオ人	3,925	0.01	1,110	2,815	71.7
ケベック人	194,555	0.56	119,985	74,575	38.3
他の北米人	1,895	0.01	660	1,240	65.4
ヨーロッパ人	19,683,320	57.12	6,675,760	13,007,560	66.1
カリビアン人	749,155	2.17	405,265	343,890	45.9
中央アメリカ、南米人	674,640	1.96	330,155	344,485	51.1
アフリカン人	1,067,925	3.10	682,570	385,355	36.1
アジア人	6,095,235	17.69	4,909,190	1,186,045	19.5
東アジア人	1,374,715	3.99	1,096,850	277,865	20.2
中国人	1,769,195	5.13	1,439,980	329,215	18.6
フィリピン人	837,135	2.43	651,390	185,740	22.2
日本人	121,485	0.35	56,725	64,760	53.3
韓国人	198,210	0.58	177,925	20,290	10.2
ベトナム人	240,615	0.70	165,390	75,225	31.3
オセニア人	85,465	0.25	15,070	70,400	82.4

出典: Statistics Canada - 2016 Census. Catalogue Number 98-400-X2016187.

2 日系カナダ人は少子高齢化していますか？

日系カナダ人は少子高齢化していません。第2表をご覧ください。2016年に25才以下が38パーセントを占めています。65才以上はわずか12パーセントです。同年の日本では65才以上は27パーセントでした。日系カナダ人はカナダ人全体とくらべても人口構成は若く、特に15才以下の比率がカナダ全体より高くなっています。

3 日系カナダ人は誰と結婚していますか？

第2表によると日系カナダ人は年齢層が若くなるにしたがって「日本人と日本人以外の祖先を持つ」人の比率が増えています。65才以上ではわずか9パーセントですが45から54才では31パーセント、25才から34才では59パーセント、そして15才以下では89パーセントになっています。若い人で比率が高いのは両親、祖父母、それ以上の世代で異人種間結婚の機会があったことと、異人種間結婚率の高い近年の女性移民の子供が含まれてい

るからです。若い日系カナダ人に「日本人と日本人以外の祖先を持つ」人がとても多いことはこれからのカナダ日系人社会に大きな影響をあたえていくものとおもわれます。

国勢調査の「日本人と日本人以外の祖先を持つひと」は日系カナダ人の異人種間結婚率の一つの指標ですが、直接の統計ではありません。直接の統計の唯一のものとしては、カナダ統計局の「カナダにおける異人種間結婚」(カタログ 99-010-X2011003)があります。この統計は2011年の国勢調査に基づいていますが、特別な方法でカナダ人のある特別な集団についてだけ異人種間結婚の実数を推定しています。この特別な集団とは **visible minority groups** 「外見上他のカナダ人と区別できる人達」で南アジア人、中国人、黒人、フィリピン人、ラテンアメリカ人、アラブ人、東南アジア人、西アジア人、韓国人、日本人です。人種差別そのもののような分類ですが、実はカナダ連邦政府の「就職機会均等法」の為に、この集団に属する人達が外見上の区別で就職で差別を受けているかどうかを調査するための分類です。

国勢調査の時に自分がこの集団の属しているかどうか選びます。2016年の国勢調査で日系カナダ人でこの集団の属していると回答した人は全部で92,920人です。これは日系カナダ人総数の76パーセントでした。このような分類を嫌って回答しなかった人がいるようです。とにかく、この集団の中で結婚している人についてカナダ統計局は結婚相手と同じ祖先(例:日系カナダ人)、「外見上他のカナダ人と区別できる人達」の中の他の祖先(例:中国人)、「外見上他のカナダ人と区別できる人達」以外の他の祖先(例:ドイツ人)の三つに分けて統計を取り、二番目と三番目の結婚を異人種間結婚としています。

第3表が「外見上他のカナダ人と区別できる人達」の異人種間結婚の2011年の統計です。日系カナダ人の異人種間結婚率は79パーセントで、「外見上他のカナダ人と区別できる人達」の集団の中で突出しています。

第二次世界大戦前のカナダではブリティッシュ・コロンビア州のバンクーバーを中心とした太平洋沿岸にカナダ日系人社会が集中していました。この日系人の結婚はこの社会で生活する日系人同士が普通でした。しかし戦中の強制疎開と戦後1947年の日本人の日本への強制送還とブリティッシュ・コロンビア州沿岸地域への帰還禁止のために、日系カナダ人は他の州へ分散移動して、戦前のカナダ日系人社会は崩壊しました。新たにカナダ各地に日系人社会ができましたが、規模が小さく、若い日系カナダ人は同年齢の伴侶を自分の住む町で見つけることが難しくなりました。これが日系カナダ人の異人種間結婚率の高い一因です。過去30年ほどの間にバンクーバーとトロントの日系カナダ人人口は大きくなり、日系人同士の結婚の機会も増えたはずですが、1990年代以降の日本人移民には、日本人女性がカナダ人の伴侶と結婚して移民して来た人が多く、異民族間結婚率は高いままです。

第二表
日本人を祖先とするカナダ人の年齢別分布 2016年

	総数	ただ一つの祖先	一つ以上の祖先
年齢層	121,485	56,725	64,760
15才以下	29,530	3,280	26,250
15から24才	17,045	3,750	13,300
25から34才	16,365	6,755	9,610
35から44才	18,325	11,290	7,040
45から54才	15,335	10,550	4,785
55から64才	9,980	7,530	2,450
65才とそれ以上	14,905	13,570	1,335

パーセント分布

	総数	ただ一つの祖先	一つ以上の祖先	カナダ全体
年齢層	100	47	53	100
15才以下	24	11	89	17
15から24才	14	22	78	12
25から34才	13	41	59	13
35から44才	15	62	38	13
45から54才	13	69	31	14
55から64才	8	75	25	14
65才とそれ以上	12	91	9	16

出典: Statistics Canada - 2016 Census Catalogue Number 98-400-X2016187

第3表
外見上少数人種の異人種間の結婚 2016年

外見上の少数人種	総ての夫婦	異人種結婚	同人種結婚
	数	パーセント	
日本人	32,820	79	21
ラテンアメリカ人	112,265	48	52
黒人	167,950	40	60
フィリピン人	155,700	30	70
アラブ人	94,315	25	75
韓国人	41,370	23	78
東南アジア人	74,560	22	78
西アジア人	51,300	20	81
中国人	351,640	19	81
南アジア人	407,510	13	87
一つ以上の少数人種の祖先	40,415	65	35
上記以外	227,215	52	48

出典: Statistics Canada, Mixed Unions in Canada, Catalogue Number 99-010-X2011003

4 日系カナダ人は何処に住んでいますか？

日系カナダ人はブリティッシュ・コロンビア州に5万1千人（42パーセント）とオンタリオ州に4万2千人（34パーセント）と、この2州に集中しています。次に日系カナダ人が多いのは、アルバータ州が1万6千人（14パーセント）、ケベック州6千人とです。都市別の分布が別表2にあります。バンクーバーが3万7千人（31パーセント）、トロントが2万8千人（23パーセント）です。日系カナダ人が住む主要15都市のうち11都市に全カナダ日系人協会の会員になっている日系人協会があります。

第4表
日系カナダ人の州別分布 2016年

	総数	総数のパーセント 分布	日本人の祖先だけ	日本人とそれ以外 の祖先
ニューファンドランド	105	0.1	35	65
プリンスエドワードアイランド	110	0.1	55	60
ノバスコシア	305	0.3	125	185
ニューブルンズウィック	305	0.3	125	185
ケベック	6,495	5.3	2,640	3,855
オンタリオ	41,620	34.3	18,835	22,785
マニトバ	2,670	2.2	945	1,725
サスカチュワン	1,225	1.0	460	760
アルバータ	16,595	13.7	6,695	9,900
ブリティッシュ・コロンビア	51,150	42.1	26,400	24,750
ユーコン	95	0.1	60	35
ノースウェストテリトリーズ	200	0.2	75	130
カナダ	121,485	100.0	56,725	64,760

5 日本人は毎年何人カナダへ移民していますか？

日本国際協力機構とカナダ移民局の統計による日本からカナダへの毎年の移民数が第5表に示されています。1946年から1966年までに2,364人が移民していますが、この人達の中には1946年にカナダ政府から日本へ強制送還された人達で、強制送還当時まだカナダ国籍を持たなかった人でカナダに移民として戻ってきた人達が多いとおもわれます。強制送還の時に既にカナダ国籍を持っていた人でカナダに戻った人も多いのですが（帰国者数は不明です）、移民ではないのでこの統計には含まれていません。1967年にカナダの移民関係の規則が変り、カナダの移民需要状態を考慮した点数制になりました。このため日本からの経済移民が増えました。1998年までに毎年の移民数は千人近くになり、2008年には1,442人になりましたが、その後は1,000人から1,200年前後になっています。1967年から2015年までに総数42,461人が日本からカナダへ移民しました。これらの移民はカナダ日系人社会では“新移住者”shin-izyusha または“新移民”new immigrants とよばれています。

6 カナダに日系新移民は何人いますか？

2016年国勢調査には「あなたの両親は何処で生まれましたか？」「あなたは何処で生まれましたか？」という質問があります。両親と本人の生まれた国により、回答者が一世、二世、または三世かそれ以上であることがわかります。

- 一世はカナダ以外の国で生まれた人で、大部分の人はカナダに移民で来た人です。
- 二世はカナダ生まれで、両親の両方または一方がカナダ以外の国で生まれた人です。大部分の人は移民の子供です。
- 三世とそれ以上の世代はは本人および両親がカナダで生まれた人です。

第5表
第二次世界大戦後のカナダへの日本移民数

西暦	移民数	西暦	移民数	西暦	移民数
1946	1	1971	883	1996	1,056
1947	0	1972	718	1997	971
1948	5	1973	1,105	1998	1,021
1949	11	1974	859	1999	1,356
1950	11	1975	635	2000	1,302
1951	3	1976	498	2001	1,645
1952	6	1977	412	2002	1,080
1953	46	1978	359	2003	1,008
1954	71	1979	666	2004	1,264
1955	97	1980	737	2005	1,346
1956	120	1981	770	2006	1,367
1957	178	1982	630	2007	1,388
1958	188	1983	330	2008	1,442
1959	191	1984	250	2009	1,323
1960	159	1985	205	2010	1,319
1961	116	1986	273	2011	1,265
1962	137	1987	446	2012	1,210
1963	168	1988	346	2013	983
1964	138	1989	541	2014	1,127
1965	209	1990	365	2015	995
1966	509	1991	492		
1967	930	1992	586		
1968	693	1993	910		
1969	766	1994	956		
1970	797	1995	835		

出典

1946年から2000年の統計はバンクーバー新移住者協会25周年記念号から転載、原本は1956年から1994年は日本国際協力機構、1995年から2000年はカナダ移民局、2001年から2015年はカナダ統計局

第6表は日系カナダ人の世代別分布です。2016年に第一世代（一世）の日系カナダ人が45,060人カナダにいました。第二世代（二世）は37,615人、第三世代とそれ以上（三世とそれ以上）は38,810人でした。ほぼ三分の二に分布しています。第一世代が“新移民”になります。年齢層別のなかの第二世代の15才以下の15,015人は第一世代の子供と考えられます。この人達はまだ親と同居して家族の一員として生活していると仮定すれば、“新移民世帯”の人達の総数は60,075人で日系カナダ人の49パーセントになります。

第6表
日系カナダ人の世代別、祖先別分布 2016年

	総ての世代	一世	二世	三世とそれ以上
年齢層	121,485	45,060	37,615	38,810
パーセント分布	100	37	31	32
15才以下	29,530	3,700	15,015	10,815
15から24才	17,045	4,865	5,415	6,765
25から34才	16,365	7,370	3,765	5,235
35から44才	18,325	10,950	3,605	3,775
45から54才	15,335	8,140	2,125	5,075
55から64才	9,980	3,795	1,340	4,850
65才とそれ以上	14,905	6,250	6,355	2,300

パーセント分布

	総ての世代	一世	二世	三世とそれ以上
年齢層	100	100	100	100
15才以下	24	8	40	28
15から24才	14	11	14	17
25から34才	13	16	10	13
35から44才	15	24	10	10
45から54才	13	18	6	13
55から64才	8	8	4	12
65才とそれ以上	12	14	17	6

出典: Statistics Canada - 2016 Census Catalogue Number 98-400-X2016187

7 日本人移民はカナダ市民権を取りますか？

2016年現在、カナダへ移民で来て永住権を持つ人 landed immigrants は次の条件を満たせば市民権を申請することができます。この条件は市民権申請の時から遡って過去4年のうち少なくとも3年以上をカナダで住んでいることです。カナダへ移民で来る日本人はまずは永住権をもらい、上の条件を満たしたときに市民権を申請できます。ただし、永住権を持ち、長くカナダに住む日本人でもカナダ市民権を取らない人がいます。第7表は2016年現在カナダに住む日本人移民一世の市民権取得状況の統計です。この統計には総数27,240

人の回答が含まれています。このうち2016年までに市民権を獲得した人は38パーセントでした。市民権獲得者の比率はカナダ在住期間が長くなるほど高くなります。2001-2010年に移民してきた人では22パーセントですが、1981-1990年では61パーセント、1981年以前では80パーセントになります。男性移民のほうが女性移民より市民権獲得率が高く、移民全体としては男性が51パーセントにたいして女性は33パーセントです。移民してからの期間が短い女性は同期間の男性より市民権獲得率が低いですが、カナダ在住が27年以上（1981-1990年の移民）では男性とほぼ同じになります。

第7表
日本人移民の性、永住権、市民権、移民時期別による分布 2016年

移民の時期	日系カナダ人 総数	女性移民の パーセント	市民権を持つ 人	カナダの市 民権のみ	カナダの市 民権と外国 の市民権	カナダの永 住権を持つ 人	市民権を持 つ人のパー セント
移民総数	27,240		10,380	9,085	1,300	16,865	38.1
男性	7,955		4,020	3,555	470	3,930	50.5
女性	19,285	71	6,355	5,525	835	12,930	33.0
1981年以前の移民	5,750		4,585	4,210	375	1,165	79.7
男性	2,490		1,975	1,820	160	510	79.3
女性	3,260	57	2,605	2,390	215	655	79.9
1981-1990年の移民	2,195		1,330	1,205	125	860	60.6
男性	780		505	470	40	275	64.7
女性	1,415	64	825	740	90	590	58.3
1991-2000年の移民	5,620		2,315	2,030	285	3,305	41.2
男性	1,510		765	670	95	745	50.7
女性	4,105	73	1,550	1,365	185	2,555	37.8
2001-2010年の移民	8,780		1,955	1,485	470	6,820	22.3
男性	1,930		695	530	160	1,235	36.0
女性	6,850	78	1,265	950	310	5,590	18.5
2011-2016年の移民	4,900		195	155	40	4,710	4.0
男性	1,250		80	65	10	1,165	6.4
女性	3,655	75	115	90	30	3,540	3.1
15から24才	95	3	0	0	0	95	0.0
25から34才	1,390	38	30	25	0	1,360	2.2
35から44才	1,495	41	40	30	10	1,455	2.7

出典: Statistics Canada, 2016 Census - Catalogue Number 98-400-X2016184

8 日本人はどのようなカナダの移民プログラムで移民しますか？

2016年の国勢調査の結果に従来無かった新しい統計が加わりました。国勢調査の個人情報カナダ移民局のもつ移民に関する個人情報と照合して出国別、カナダの移民プログラム別の統計を作られました。

第8表が日本人移民の移民プログラム別、移民時期別による統計です。先ず統計の用語を説明します。

- “経済移民”はカナダの労働市場が必要としている技能や資格を持った人、投資や企業をする移民です。
- “呼び寄せ移民”はカナダ永住権や市民権をもつ人が伴侶、両親、祖祖父、子供または他の親類の保証人となってカナダに呼び寄せる移民です。
- 主移民申請者は移民申請書に主要移民申請者となっている人。副移民申請者として伴侶を記載している場合と伴侶はいなく、個人として申請している人の二つの場合があります。

第8表
日本生まれのカナダへの移民の移民の時期と移民の種類による分布 2016年

	全期間	1980- 1990年	1991- 2000年	2001- 2010年	2001- 2005年	2006- 2010年	2011- 2016年
総ての種類の移民	21,930	2,630	5,620	8,780	3,580	5,195	4,900
経済移民	10,205	1,515	2,745	3,595	1,340	2,255	2,350
主移民応募者	5,565	765	1,615	1,770	655	1,115	1,420
副移民応募者	4,635	755	1,125	1,825	685	1,140	930
呼び寄せ移民	11,325	1,020	2,805	5,045	2,210	2,830	2,460
難民	175	60	25	45	10	35	40
その他	225	40	45	90	20	70	55

パーセント分布

	全期間	1980- 1990年	1991- 2000年	2001- 2010年	2001- 2005年	2006- 2010年	2011- 2016年
総ての種類の移民	100	100	100	100	100	100	100
経済移民	47	58	49	41	37	43	48
呼び寄せ移民	52	39	50	57	62	54	50
難民その他	2	4	1	2	1	2	2

出典: Statistics Canada, 2016 Census of Population, Statistics Canada Catalogue no. 98-400-X2016202.

第8表に入っている1980年から2016年までの日本人移民で2011年現在カナダに居住している日本人移民は21,930人で、第6表の第一世代日系カナダ人(移民)の45,060人よりずっと少ないです。これは第8表には日本人移民に同伴する子供は含まれていないのが一番大きな理由です。他にも移民の時期が第8表より短い、国勢調査にはいるが移民局のデータと照合できなかった、などの理由があります。

しかし、日本人移民の次のような重要な特徴が第8表からわかります。

- 1980年から2016年の日本移民は約半数が経済移民で、他の半数が呼び寄せ移民である。
- 呼び寄せ移民の比率が1980年代の39パーセントから1990年代の50パーセント、そして2000年代の57パーセントに上昇し、2010年代前半の50パーセントに下降した。

9 なぜ日本人移民には女性が男性より多いのですか？

日系カナダ人全般の統計である第9表を見ると、日系カナダ人全般で女性は56パーセント、男性は44パーセントです。女性が男性より多いのは日系カナダ人第一世代で女性が67パーセント、男性が33パーセントと女性が圧倒的に多いのが原因です。第2世代、第3世代では女性と男性はほぼ半数づつになっています。ではなぜ、日系カナダ人第一世代(移民)に女性が男性より多いか考察しましょう。この考察には日本移民の移民プログラム別、性別の統計が役立ちます。

先ず第10表をご覧ください。この表は日本人女性の移民プログラム別の移民数の、移民時期による変化を示しています。1980年から2016年までに女性移民は全移民の74パーセントです。この数字は日系移民第一世代(2016年の構成調査の日本移民)に占める女性移民の比率67パーセントに近いです。

第9表
日系カナダ人の世代別単一または複数先祖による分布 2016年

	総数	ただ一つの祖先	一つ以上の祖先
全世代	121,485	56,725	64,760
男性	53,415	21,725	31,695
女性	68,070	35,000	33,070
一世	45,060	32,370	12,690
男性	15,015	9,480	5,535
女性	30,045	22,895	7,155
二世	37,615	13,300	24,315
男性	19,000	6,660	12,340
女性	18,615	6,640	11,975
三世+それ以上	38,810	11,060	27,750
男性	19,400	5,585	13,815
女性	19,405	5,470	13,940

パーセント分布

	総数	ただ一つの祖先	一つ以上の祖先
全世代	100	100	100
男性	44	38	49
女性	56	62	51
一世	100	100	100
男性	33	29	44
女性	67	71	56
二世	100	100	100
男性	51	50	51
女性	49	50	49
三世+それ以上	100	100	100
男性	50	50	50
女性	50	49	50

出典: Statistics Canada, 2016 Census of Population, Statistics Canada Catalogue no. 98-400-X2016187.

1980年から2016年の間にカナダに移民した日本女性の37パーセントが経済移民で62パーセントが呼び寄せ移民です。女性の呼び寄せ移民の女性移民全体に占める比率は1980年代の48パーセントから1990年代の61パーセント、そして2000年代の66パーセントに上昇し、2010年代前半に59パーセントに下降しています。

経済移民でカナダに来る日本女性は(1)独身者、(2)伴侶の男性と一緒に来る人がいますが、両者はほぼ同数です。これに対して呼び寄せ移民全体では女性が9,990人、男性が1,340人と圧倒的に女性が多くなっています(別表3)。すなわち、呼び寄せ移民で来る女性が多いことが日系カナダ人第一世代(日本人新移民)で女性の比率が高い重要な要因です。

女性の呼び寄せ移民にはカナダ人が(日本移民も含む)呼び寄せる日本人の伴侶、母親、祖母、子供、親戚が入っています。移民プログラムの統計からはどのような家族をよびよせているのかわかりません。しかし、女性の2011年現在の年齢層の分布、カナダへの移民の

時期がわかるので、女性がカナダへ移民をしてきたときのおおよその年齢を推定することができます。この年齢からカナダ人の伴侶として（カナダ人と結婚して）カナダへ移民をしてきたであろう日本女性の数を推定できます。この推計の方法は別表4に書いてあります。女性呼び寄せ移民の約80パーセントがカナダ人と結婚してその伴侶として移民してきたと推定しました。すなわち日系カナダ人一世に女性が男性より多い大きな要因はカナダ人男性と結婚して移民してきた女性が多いことです。

第10表
日本生まれの女性のカナダへの移民の移民の時期と移民の種類による分布 2016年

	全期間	1980-1990年	1991-2000年	2001-2010年	2001-2005年	2006-2010年	2011-2016年
総ての種類の移民	16,230	1,620	4,105	6,850	2,820	4,035	3,655
経済移民	5,960	775	1,565	2,205	805	1,405	1,415
主移民応募者	2,775	220	760	1,000	380	620	795
副移民応募者を伴う	1,455	195	325	620	265	355	310
副移民応募者無し	1,320	25	435	380	115	265	485
副移民応募者	3,185	560	805	1,205	420	785	615
呼び寄せ移民	9,990	775	2,505	4,555	1,990	2,565	2,160
難民その他	275	70	40	90	15	65	85
単身女性移民の推定値	11,310	800	2,940	4,935	2,105	2,830	2,645

パーセント分布

	全期間	1980-1990年	1991-2000年	2001-2010年	2001-2005年	2006-2010年	2011-2016年
女性移民の全移民に対する比率	74	62	73	78	79	78	75
それぞれの移民期間中の分布							
総ての種類の移民	100	100	100	100	100	100	100
経済移民	37	48	38	32	29	35	39
主移民応募者	17	14	19	15	13	15	22
副移民応募者を伴う	9	12	8	9	9	9	8
副移民応募者無し	8	2	11	6	4	7	13
副移民応募者	20	35	20	18	15	19	17
呼び寄せ移民	62	48	61	66	71	64	59
難民その他	2	4	1	1	1	2	2
単身女性移民の推定値	70	49	72	72	75	70	72
伴侶を伴う女性移民の推定値	30	51	28	28	25	30	28

出典: Statistics Canada, 2016 Census of Population, Statistics Canada Catalogue no. 98-400-X2016202.

10 日系カナダ人は母語としての日本語を継承していますか？

カナダには英語とフランス語の二つの公用語があります。またカナダは移民の国で現在でも一年に20万人以上の移民が世界中から来ます。そのためカナダ人の公用語の知識は国の基本として大切です。国勢調査はカナダ人の公用語の知識についての基本的な資料を提供しています。国勢調査には母語 **mother tongue** についての質問があります。母語とは国勢調査の回答者が子供の時に家庭で最初に覚えた言語で、且つ2016年の国勢調査の時にも十分に会話の出来る言語を指します。公用語の知識とは公用語で会話ができることを指します。

第11表は日本語を母語とするカナダ人の公用語知識別の分布です。

第11表によると2016年現在日本語を母語とする移民一世が32,855人いました。一方、第1表によると日本生まれの移民一世56,725人います。この人達の大部分は日本語を母語としているでしょう。第12表の日本語を母語とする一世の数が移民一世より随分と少ない理由はわかりません。国勢調査の回答の時に何らかの理由で母語に日本語を選ばなかったのでしょうか。第12表は日本語を母語とする人が一世から二世、三世と急激に減少していることがわかります。日系カナダ人が日本語を母語として子供達に伝えていくことの難しさを示しているとおもわれます。

日本人移民一世の88パーセントの人達が英語を話せると回答しています。しかしフランス語を話せる人は5パーセントと少ないです。

第11表
日本語を母語とするカナダ人の世代別、言語の知識別分布 2016年

言語の知識	全世代	一世	二世	三世とそれ以上
日本語を母語とするカナダ人	43,240	32,855	9,520	870
一つの言語しか話さない				
英語のみ	1,500	290	940	260
フランス語のみ	0	0	10	0
日本語のみ	2,515	1,770	710	35
二つ以上の言語を話す				
英語と日本語	36,200	28,945	6,750	505
フランス語と日本語	170	115	55	0
英語とフランス語	70	30	35	15
日本語と英語、フランス語以外の一つ	70	55	15	0
英語、フランス語と日本語	2,710	1,645	1,015	50

パーセント分布

言語の知識	全世代	一世	二世	三世とそれ以上
日本語を母語とするカナダ人	100.0	100.0	100.0	100.0
一つの言語しか話さない	0.0	0.0	0.0	0.0
英語のみ	3.5	0.9	9.9	29.9
フランス語のみ	0.0	0.0	0.1	0.0
日本語のみ	5.8	5.4	7.5	4.0
二つ以上の言語を話す	0.0	0.0	0.0	0.0
英語と日本語	83.7	88.1	70.9	58.0
フランス語と日本語	0.4	0.4	0.6	0.0
英語とフランス語	0.2	0.1	0.4	1.7
日本語と英語、フランス語以外の一つ	0.2	0.2	0.2	0.0
英語、フランス語と日本語				

出典: Statistics Canada, 2016 Census of Population, Statistics Canada Catalogue no. 98-400-X2016195.

Appendix

別表 1
日系カナダ人の単一または複数先祖別、州別分布 2016年

	総数	ただ一つの祖先	一つ以上の祖先
ニューファンドランド	280,640	198,795	81,845
プリンスエドワードアイランド	62,075	32,975	29,100
ノバスコシア	410,825	214,975	195,850
ニューブルンズウィック	370,240	202,775	167,465
ケベック	4,850,145	3,634,570	1,215,575
オンタリオ	3,220,595	1,346,590	1,874,005
マニトバ	247,670	92,745	154,930
サスカチュワン	230,620	97,340	133,280
アルバータ	955,040	413,840	541,205
ブリティッシュ・コロンビア	922,690	318,980	603,715
ユーコン	9,340	3,235	6,100
ノースウェストテリトリーズ	8,215	3,620	4,600
カナダ	11,628,535	6,617,290	5,011,245

パーセント分布

	総数	ただ一つの祖先	一つ以上の祖先
ニューファンドランド	2.4	3.0	1.6
プリンスエドワードアイランド	0.5	0.5	0.6
ノバスコシア	3.5	3.2	3.9
ニューブルンズウィック	3.2	3.1	3.3
ケベック	41.7	54.9	24.3
オンタリオ	27.7	20.3	37.4
マニトバ	2.1	1.4	3.1
サスカチュワン	2.0	1.5	2.7
アルバータ	8.2	6.3	10.8
ブリティッシュ・コロンビア	7.9	4.8	12.0
ユーコン	0.1	0.0	0.1
ノースウェストテリトリーズ	0.1	0.1	0.1
カナダ	100.0	100.0	100.0

出典：Statistics Canada, 2016 Census of Population, Statistics Canada Catalogue no. 98-400-X2016187.

別表 2
日系カナダ人の多い都市 2016年

City	総数	パーセント分布	一つだけの祖先	一つ以上の祖先
バンクーバー *	37,630	31.0	20,265	17,365
トロント *	28,045	23.1	13,725	14,315
カルガリー *	7,705	6.3	3,125	4,575
モントリオール *	5,320	4.4	2,220	3,100
エドモントン *	3,635	3.0	1,230	2,400
オタワ・ガディノー *	3,370	2.8	1,180	2,190
ビクトリア *	2,980	2.5	1,435	1,545
ウィニペグ *	2,290	1.9	850	1,440
ハミルトン *	2,180	1.8	865	1,315
ケローナ	1,900	1.6	835	1,070
レスブリッジ *	1,805	1.5	900	905
キッチナー ウオタールー	1,025	0.8	420	605
キャムループス *	1,015	0.8	500	510
アボッツフォード ミッション	730	0.6	330	400
ナナイモ *	670	0.6	340	335
サスカトゥーン	565	0.5	215	355
ケベックシティー	475	0.4	170	300
バーノン *	455	0.4	230	225
リジャйна	390	0.3	170	220
サンダーベイ *	380	0.3	90	290
クーテニー	255	0.2	100	145
ダンカン	190	0.2	75	115
キャンベルリバー	140	0.1	85	60
パークスビル	125	0.1	55	65
上記の全都市	103,275	85.0	49,410	53,845
日系カナダ人総数	121,485	100.0	56,725	64,760

出典: Statistics Canada - 2016 Census. Catalogue Number 98-400-X2016187.

注: *印は2017年現在日系人協会のある都市

別表 3
日本生まれの男性移民の移民期間別、移民の種類別分布 2016年

	全期間	1980-1990年	1991-2000年	2001-2010年	2001-2005年	2006-2010年	2011-2016年
総ての種類移民	5,700	1,015	1,510	1,930	765	1,165	1,250
経済移民	4,240	745	1,175	1,395	540	855	930
主移民応募者	2,795	550	855	770	275	500	620
副移民応募者	1,455	195	325	620	265	355	310
呼び寄せ移民	1,340	240	305	490	220	270	305
難民	55	15	15	20	0	15	0
上記以外	65	20	15	25	10	25	10

出典: Statistics Canada, 2016 Census of Population, Statistics Canada Catalogue no. 98-400-X2016202.

別表4
女性呼び寄せ移民の移民の時期と2016年の年齢層による分布

2016年の年齢層	全期間	1980-1990年	1991-2000年	2001-2010年	2001-2005年	2006-2010年	2011-2016年
15才以下	130	0	0	40	10	30	85
15から24才	140	0	40	55	30	20	45
25から34才	1,470	30	25	460	55	405	955
35から44才	4,165	25	455	2,890	1,200	1,685	795
45から54才	2,800	155	1,565	915	600	315	160
55から64才	770	340	270	105	60	40	55
65-74才	385	175	105	65	30	40	30
75才とそれ以上	140	50	40	30	10	20	20
女性伴侶数の推定			1,565	3,805	1,800	2,090	1750
女性伴侶数のパーセントの推定			62	84	90	81	81

移民の時期における女性呼び寄せ移民の年齢層

2016年の年齢層	1980-1990年	1991-2000年	2001-2010年	2001-2005年	2006-2010年	2011-2016年
15才以下; 2002-2016	0	0 to 6	0 to 8	0 to 3	4 to 8	9 to 14
15から24才; 2001-1992	0 to 2	0 to 8	0 to 8	0 to 13	5 to 18	10 to 24
25から34才; 1991-1982	0 to 8	0 to 18	10 to 28	10 to 23	15 to 28	20 to 34
35から44才; 1981-1972	0 to 18	10 to 28	20 to 38	20 to 33	25 to 38	30 to 44
45から54才; 1971-1962	9 to 28	20 to 38	30 to 48	30 to 43	35 to 48	40 to 54
55から64才; 1961-1952	19 to 38	30 to 48	40 to 58	40 to 53	45 to 58	50 to 64
65-74才; 1951-1942	29 to 48	40 to 58	50 to 68	50 to 63	55 to 68	60 to 74
75才とそれ以上; 1941-1931	39 to 59	50 to 68	60 to 78	60 to 73	65 to 78	70 to 84

太字は女性呼び寄せ移民の中でカナダ人男性の伴侶と推定される年齢層および移民数

出典: Based on Statistics Canada, 2016 Census of Population, Statistics Canada
Catalogue no. 98-400-X2016202の統計に基づく推定

カナダ人と結婚して呼び寄せ移民としてカナダに来た日本女性数の推定方法

別表4の上段は呼び寄せ移民で来た女性の移民の時期と2016年現在の年齢層による分類です。25才から34才の年齢層の女性はカナダ人男性と結婚して伴侶として移民して来た可能性があります。しかし、上段の年齢層は女性がカナダに移民をした時の年齢層ではありません。国勢調査が行われた2016年現在の年齢層です。

下段の表で2016年現在の年齢層が過去の移民の時期ではどのような年齢層の相当するか調べます。2016年現在25才から34才の女性を例にします。2016年に25才の女性は1991年生まれですから、2001年には20才でした。同様に2016年に34才の女性は1982年生まれで2010年には38才でした。ですから2016年の国勢調査の時に25才から34才の年齢層の女性は2001年から2010年に移民したときには20才から38才の年齢層に入っていました。下段の表はこのようにそれぞれの移民の期間について女性の年齢分布を示しています。

この報告では便宜上カナダに移民をしてきた時の年齢が20才から48才までの呼び寄せ移民の女性を、カナダ人男性と結婚してその伴侶として移民して来た人と仮定します。すると

上段からこの年齢で移民して来た女性の数が移民の期間別にわかります。それぞれの移民の期間について上記の年齢層にあてはまる女性の総数と、呼び寄せ移民の女性全体にたいしての比率が示してあります。移民の時期の女性の年齢層に幅があるので、移民の時期によりカナダ人の伴侶として移民して来た女性の比率を正確に比べることが出来ませんが、大まかに言って約80パーセントの呼び寄せ移民の女性はカナダ人男性と結婚してその伴侶として移民してきたと推定出来るでしょう。

この報告の基礎となった2016年カナダ国勢調査の統計の取得方法

インターネットで次のカナダ統計局のページにいきます。

<http://www12.statcan.gc.ca/census-recensement/2016/dp-pd/index-eng.cfm>

国勢調査へのアクセスは無料です。

1. このページから **Date tables** に行きます。
2. このページに **Age and Sex, Education** などの項目があります。
3. これらの中から **Immigration and ethno-cultural diversity** を選びます。
4. ここに統計の内容と統計のカタログ番号が書いてあります。この報告書の表の統計を調べるには表の下の出典に書いてあるカタログ番号を調べて、このインターネットのページからこのカタログ番号の付いた項目に行きます。
5. **View/download this product** をクリックすると、この統計でどのような変数が選択出来るかプルダウンメニューからわかります。
6. 変数を選んでから **Submit** をクリックします。すると選択した変数について分類された統計表が現れます。この統計表から数字を読み取るか、数字をコピーして、スプレッドシートなどにペースト出来ます。また表全部をダウンロードすることもできます。

2017年11月3日現在は、2016年の国勢調査で次の項目の統計がまだ公表されていません。

- 教育
- 仕事場への移動
- 労働
- 仕事場で使う言語
- カナダ国内の引っ越し

尚、この報告書は公表されている国勢調査の統計に基づいているので、報告書の全部、または一部の引用は自由です。私の許可を必要としません。但し報告書の中で国勢調査の統計の意味について私が解釈した部分があります。これらの解釈も含めての引用は自己責任でしてください。